

令和3年度「国有林モニターアンケート（第2回）」調査結果

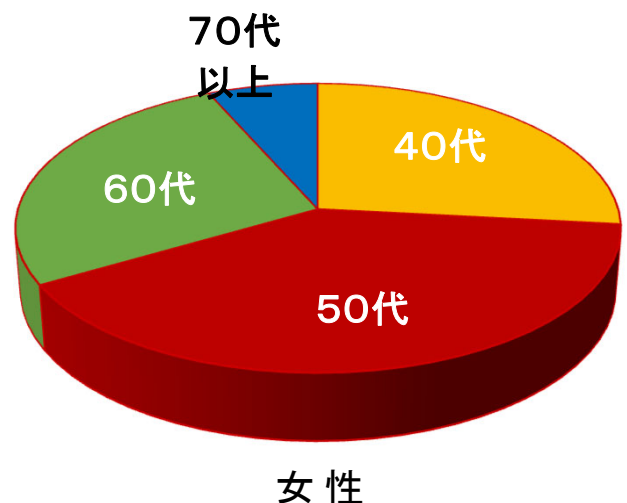
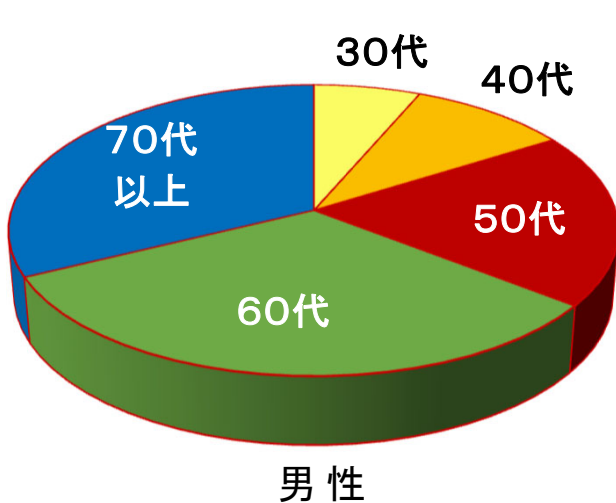
近畿中国森林管理局では、国有林モニターにご登録いただいている皆さまから、今後の国有林野の管理経営や広報活動の参考にさせていただくために、以下のアンケートにご協力いただきました。

今回は、12月に送付させていただきました「令和2年度 国有林野の管理経営に関する基本計画の実施状況」の内容を中心として設問を用意し、記述での回答箇所を設けました。

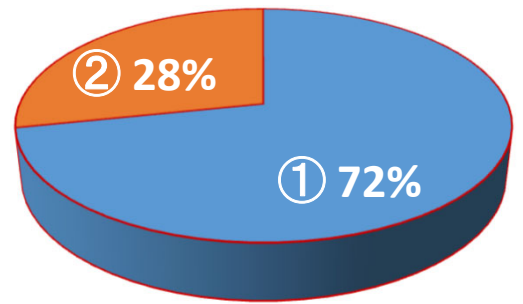
調査時期	令和3年12月		
調査方法	アンケート用紙の郵送による回答、ホームページ内のフォームでの回答		
回収状況	アンケート依頼モニター数	80名	
	アンケートの回答	46名	
	アンケートの回答率	58%	

ご回答いただいたモニターの年代別構成 (人)

区分	男性	女性	計
20代	0	0	0
30代	2	0	2
40代	3	4	7
50代	6	6	12
60代	10	4	14
70代以上	10	1	11
計	31	15	46



質問1 令和2年度の実施状況の概要について(P1~P10)のトピックスの中で最も興味をひかれたものは何ですか。1つお選びください。			
①	トピックス1 令和2年度7月豪雨の対応(P5~P6)	33	72%
②	トピックス2 国有林野事業における新型コロナウイルス感染症の影響への対応(P7~P10)	13	28%
計		46	



質問1 興味をひかれた理由やP1~P10の中でご意見等がございましたらご記入下さい。	
①	最近の豪雨災害は気候変動というより土木施工の不備や危険地域への見回り不足が招いた事が大きいと思う。早急に危険箇所を点検し手を打つべき。
①	地球温暖化による豪雨災害が各地で起こり、森林の立木が土石流に押し倒されて甚大な被害が発生している。ICTを活用して効率的な調査が実施されていることは国有林のみならず民有林の被害予防が期待でき、大いに評価する。
①	毎年どこかで豪雨災害が起きているので、他人事と思えないから。
①	毎年豪雨災害が多発しており、その対応について具体例を知ることができたため。
①	ICTを活用したソフト面での迅速な対応は今後益々必要になってくると思う。適地適木による経営面と公益的機能を発揮させる森林づくり(針葉樹と広葉樹とのバランス等)が山地災害防止の基本であろう。
①	まず写真を見て胸が締め付けられた。この写真は、我が家の近くで起きた西日本豪雨と全く同じ様相だったから。一刻も早い復旧を願う気持ちになった。
①	集中豪雨等の大規模災害に対して迅速的確に対応されていることがよく理解できた。
①	アプリ導入についてICTの活用が今後更に必要になると考えられる。新しいアプリやアプリの改善などそういう業務の担い手の育成が必要になると思った。
①	想定外の災害が起きておりこれまで以上に豪雨、水害に対する備えは急務である。山地災害調査アプリ活用による、森林における土砂の情報がリアルタイムで把握、共有出来る事は良いと考えた。
②	コロナ禍で木材の需要に影響があった点に少々驚いた。建築物の建替えや増改築は影響を受けないと思っていたが。輸入量が減った分、国産木材のシェアが高くなったと思う。このシェア(顧客)との繋がりを強化して、さらに販売量を増大させる方向に取り組んでほしい。
②	ウッドショックという言葉が生まれるほど、新型コロナウイルスの影響は様々なところまで波及した。しかし、木の価値が上昇しても、今の日本にはその需要に対応することさえできないほど林業が衰退している。このことには、非常に残念な思いがすると同時に、ここまで林業を衰退させた国に憤りを感じる。
②	色々な産業がコロナでダメージを受けているが、木材需要が減少して林業も影響を受けていたのだと改めて気づいた。ただ、最近では木材の利点が見直されてきており今後は需要も増えてくると思われるので国産の木材使用をセールストークにして製品を作っていけば外国産のものとの差別化ができていいと思う。
②	コロナ禍により木材需要が低迷するなか国有林材の供給調整対策を行い影響を最小限に抑えたとあるが、外材輸入が減少した時こそ国産材を売り込むチャンスだと思った。
②	現在も続くコロナ禍、木材需給への影響が更に拡大すると考える。特に「立木販売」は減少が大きく落ち込み深刻である。正確な情報をキャッチし、国内の木材需給の良いバランスがとれるよう、万全な対策をしないとイケないと思う。

1 国有林野の管理経営に関する基本方針に基づく管理経営の推進(P12～P54)

質問2 (1) 公益重視の管理経営の一層の推進(P13～P29)のコラム及び事例の中で最も興味をひかれたものは何ですか。1つお選びください。					
①	コラム1 国土強靱化3か年緊急対策の取組(P21)	9	20%		
②	事例1 多様で健全な森林への誘導に向けた面的複層林施業(P18)	5	11%		
③	事例2 災害に強い林道に向けた取組(P24)	16	35%		
④	事例3 森林土木工事における木材利用に向けた新たな工法の開発(P27)	5	11%		
⑤	事例4 希少猛禽類の狩場創出を考慮した人口林の伐採(P29)	11	24%		
計		46			

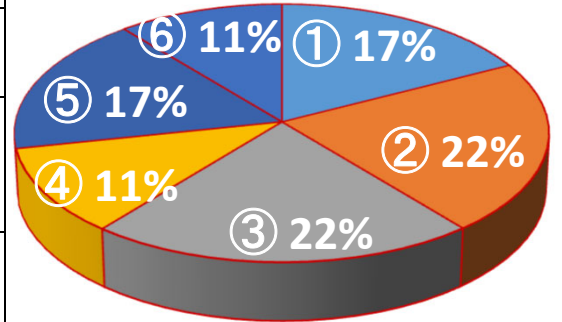
※四捨五入により合計は100%になっていません。

質問2 興味をひかれた理由やご意見等がございましたらご記入ください。	
①	世界的な自然災害が続いており、我が国においても国土の被害が拡大している。これまでの3年間をしっかりとめ、更なる対策を実施する必要がある。国土強靱化3年計画を更に延長、緊急対策が必要なものから実施して頂きたい。
①	効率重視の無理な施業方法が目につく。国土強靱化と言いながら、皆伐主体で植林もせずに自然更新に任せるようなことは止めてほしい。確かに森林整備も必要だが、その前に周辺の山々を将来どうデザインしていくのか、こうした考えもなしの施業は危険極まりない。
②	効率は良くなさそうなので、作業される場所は嫌がるのではないかと思う。ただ、将来を見据えては大切だと思う。
②	一斉皆伐はコストは下がるが災害の危険性は高まる。複層林施業は効率が悪く搬出コストが高くなる等、それぞれ問題がある中で面的複層林はまとまった材が確保でき、土砂流出の危険性も低いことから、現場によっては非常に効果が高いと感じた。
③	民有林の補完施設として国有林の林道整備は不可欠であり、県、市町村と連携して更なる林道開放に取り組んで頂きたい。
③	林道、作業道が整備されて、伐採～搬出作業の機械化が進むことは歓迎するが、数年経つと路肩や法面の崩落箇所が見られる。写真にあるように落石防止ネットの設置や路体改良を行うとともに、定期的な点検補修が必要と思う。
③	作業性良い幅広い道は、重要だが、そればかりでは山地崩壊を引き起こしたり、また生態系の保全上良くないのでは？
④	撤去不要の工法を初めて知った。地域で人材を育てられれば、その土地にあった工法が末代まで引き継がれるのではないかと思った。
④	森林土木工事の施工環境を考えると評価できる工法であるが、施工費の軽減と材林資源の損失を比べた場合、残置型枠に利用することが最良な工法だろうか疑問に思う。
⑤	希少猛禽類、イヌワシの生息数の回復に考慮した伐採を考えていることに興味を持った。
⑤	空から地面が見えるほど木を間伐する発想は、私にはなかった。保護活動は、保護したい動物のくらしを十分に理解して試みる必要があるとわかった。

質問3 (2) 森林の流域管理システムの下での森林・林業再生に向けた貢献(P30～P42)のコラム及び事例の中で最も興味をひかれたものは何ですか。1つお選びください。				
①	コラム2 林業大学等との連携による人材育成(P41)	11	24%	
②	事例5 無人航空機による造林資材の運搬(P33)	15	33%	
③	事例6 北海道における国有林採取園が果たす役割(P34)	0	0%	
④	事例7 伐採検討会による木材需要への林道事業体の対応力向上(P36)	0	0%	
⑤	事例8 民有林と連携した森林整備や協調出荷(P38)	14	30%	
⑥	事例9 国有林野のフィールドを活用した地域林政アドバイザーの養成(P40)	6	13%	
計		46		

質問3 興味をひかれた理由やご意見等がございましたらご記入ください。	
①	人材育成は大切である。特に就業前の頭が柔らかい内に教育するが大事。各県に最低1校は出来るように今後も努めていただけるとありがたい。
①	高齢化が進むといわれる林業産業の中で、人材育成を積極的に進めている点に非常に興味が惹かれた。
②	ドローンなどによって、へき地への食料品や薬品を運搬する試みも各地で行われており、林業の分野においても積極的に無人航空機などを利用することで人材不足の解消にも繋がって良いと思う。
②	林業の機械化・情報化は生産性を維持するために重要なことだと考える。費用対効果の算出も必要だが、あらゆる技術を試す取り組みこそが今の林業には必要だ。
②	万が一墜落した場合の対処法も検討しておく必要がある。
⑤	国土保全、森林保全には民有林との連携強化は必須であり、今後も進展を図り森林整備の推進を一層進めて頂きたい。
⑤	これからの時代は、こうした民間と官との連携は重要であると思う。規模の課題もあるだろうが、小施業面積でもぜひ取り組めるようになればと考える。路網の整備は大変頭の痛い問題であるが、道だけでも作っていただければ考え方もかわるはず。
⑤	地球温暖化対策等のため、国内の材木供給アップが必要である。特に民有林の活用は希望を持つように指導すべきと考えられる。それには魅力のある『森林業』の必要性を知らしめることが第一と考えられる。
⑥	市町村が森林経営管理をするには人材の養成は不可欠である。各地にある管理局が主体となり自治体と連携し研修を実施し管理の円滑化と高度化を図るべきである。
⑥	林業でも農業でも感じることだが、その仕事で生活が出来るのか否かがポイントになると思う。アドバイザーにより収益が上がる林業が推進されることを希望する。
⑥	森林経営管理制度そのものがどのような仕組みなのか知る個人所有者がどの程度いるのかが問題であり、個人所有者への周知徹底も必要と考える。

質問4		(3) 国民の森林(もり)としての管理経営(P43~P54)のコラム及び事例の中で最も興味をひかれたものは何ですか。1つお選びください。	
①	コラム3 木の文化の継承と国有林野の役割(P51)	8	17%
②	事例10 国有林モニターを対象とした説明会の開催(P44)	10	22%
③	事例11「遊々の森」での森林環境教育の取組(P47)	10	22%
④	事例12 ハートマーク♡桜の記念植樹による地域への貢献(P49)	5	11%
⑤	事例13 公益財団法人イオン環境財団法人による森づくり(P50)	8	17%
⑥	事例14 ガス会社による分収造林制度を活用した森林づくり活動(P54)	5	11%
計		46	



質問4		興味をひかれた理由やご意見等がございましたらご記入ください。	
①	一般の人には林業や林政より、文化面からアプローチした方が、木のこと山のことについて興味を持ってもらえるのが明かかだと思うから。		
②	今年度は新型コロナの中で現地での説明会は開催されず。現地で学ぶことは大切であり、令和4年度は是非とも実施頂きたい。		
②	国有林が身近にない私にとって、説明会を催していただけるのは、学びになりありがたい。		
②	多くの国民は林業の実態を知ることなく日々生活している(私も含め)。今回たまたま国有林モニターになったことから、様々な情報に触れて知識を高めることができた。国有林モニター事業を是非継続して頂きたい。		
③	子供の時の体験は何一つ無駄はないと思う。どんなに小さなことでも毎年何かで関わられたらいいと思う。		
③	大人も子供も対象に、広く各地で色々な森林環境教育が行われてほしい。知らないから関心がなくなるので、いろいろ森や林のことが分かれば、親しみが湧いてくる。		
③	森林、国土保全が長期の施策であるのと同様、人材育成や事業を知ってもらい、ファン・サポーターになってもらえる様、幼少の頃から事業を知ってもらうことが大切だと思う。		
④	伐採された山は禿たようで景観が良くないが山に桜が咲けば明るくなって心が和む。花の咲く木や紅葉する木のある山は地域にとっての自然のイルミネーションのようなものだと思う。小さな国有林にもこのような企画が欲しい。		
⑤	行政と民間が協働して森づくりを始めをした、環境活動に取り組むことは、地域の子供達に対する教育に効果があり、各管理局でどんどん推進していくべきである。		
⑤	イオンの取組は、今後の森づくり促進のために良い取組だと思う。私の住んでいる地域のイオンのショッピングモールでその紹介がされている。		
⑥	分収林制度による森林づくりについては、ゼロカーボンを進める上で今後益々広がっていくと思う。		

2 国有林野の維持及び保存 (P56～P70)

質問5 (1) 森林の巡視、病虫害の防除等適切な森林の保全管理(P57～P62)の事例の中で最も興味をひかれたものは何ですか。1つお選びください。				
①	事例15 無人航空機を活用した効率的な境界の管理(P58)	14	30%	
②	事例16 地域が一体となったナラ枯れ防除体制構築に向けた現地検討会の開催(P60)	11	24%	
③	事例17 効率的なシカ捕獲手法の普及(P62)	21	46%	
計		46		

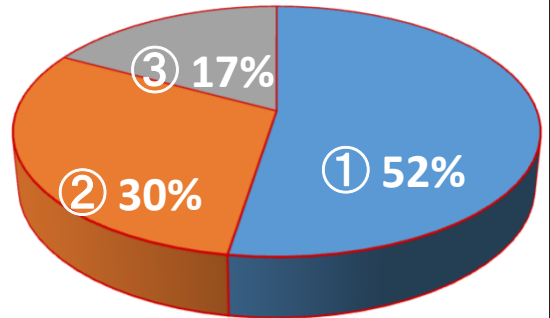
質問5 質問5で興味をひかれた理由やご意見等がございましたらご記入ください。	
①	国有林の広大な面積をどの様に巡視されているのか疑問であった。盗伐という犯罪行為もあり巡視による管理の必要性を感じる。
①	境界標はGPSにより位置記録を考える時期になったと考える。航空写真もグーグルアースを使えば全国の国有林で境界の異常を捉えることが可能だと思う。
①	日本の第一次産業を世界で通用する産業に高度化するためには、機械化・情報化、そして自動化が必須だと考える。無人機を使って人では無理なことをどんどんやっていくべき。取得した情報を有効活用するのが次のステージ。
①	無人航空機が活躍していることを知り嬉しく思う。国有林と民有林の境界線をきちんと実施することは確かに大切な事だと思う。しかし根柢部分では繋がっている。自然は繋がっているのだ。民有林を置き去りにすることのない取り組みをお願いしたい。
①	森林の巡視、病虫害の防除等適切な森林の保全管理にドローンの活用は効果的。今後、実際の取り組み等の紹介も楽しみにしている。
②	15年ほど前に私の民有林でナラ枯れ被害が発生し、ほぼ全滅した。ナラ枯れ等の被害を食い止める本格的な調査研究が必要である。
②	ナラは「しいたけ」「炭焼き」用原木として利用は多い。深刻な問題であり森林の美観にも…。全国各地で駆除体制の構築・検討会の実施は急を要する。
②	壊滅する前に防除体制を構築し守って欲しい。
③	シカによる森林への被害は喫緊の課題であるが、どうすればシカと人間が共生できるのか。単に捕獲して、ジビエにするだけでよいのか。また、小林式は成果をあげているようだが、動物の愛護や保護の観点から、最適なものかどうかヨーロッパの動物保護の動向も観点に入れて考えていく必要もあるのではないかと。
③	昨年、自身の任意団体で鹿肉活用法に取り組み、鹿肉試食会をコラボしたスポーツイベントを開催した。森林資源活用の中で鹿捕獲も考え、取り組まれているところに期待が持てた。
③	小林式誘引捕獲を更に各自治体に普及、並びに指導願いたい。講習会の充実強化を図って頂きたい。
③	有害鳥獣は、地域の人々に大きな影響を与えている。人間と動物の住むエリアの境は無くなってきているのではないかと。それも田舎だけでなく都市部においても近年その傾向が出てきた。森林被害軽減のためだけでなく、農業被害を減らすためにも引き続き取り組んでほしい。
③	野生鳥獣の捕獲量が増えていることをこの資料で初めて知った。そして、その「被害」が、「共生」の域を超えている現状もわかった。

質問6 (2)「保護林」など優れた自然環境を有する森林の維持・保存(P63～P70)の事例の中で最も興味をひかれたものは何ですか。1つお選びください。				
①	事例18 希少な照葉樹林の保護林設定(P67)	15	33%	
②	事例19 四国山地の保護林内で新たにツキノワグマの生息を確認(P68)	20	43%	
③	事例20 環境省等と連携したレブンアツモリソウの保護増殖(P70)	11	24%	
計		46		

質問6 興味をひかれた理由やご意見等がございましたらご記入ください。	
①	日本の森林の中で目立たない照葉樹林の存在価値が高められ、保護することは大切なことだ。国土の保全につながるので誤った行動にならない様、国民全体の取り組みが必要だ。
①	保護林と聞いてもピンとこないが、「知床」「白神山地」などの記載を見ると理解されやすい。山森は全国画一的な生態ではないのでその固有性を守らなければならないと理解できる。
①	天然林は、気候に適して生存した植生であると思うので、九州地方の人工林を単層林から変えていく際の貴重な参考林になるだろう。種の採取も行ったらいいと思う。
①	希少な植生を持つ場所を保護林として認定することは当然だと思う。わが国でも、全国的にフォレスタ制度を制度化し、森林保全の基準や将来を見据えた森林管理の手法に変えていかなくてはいけないと思う。
②	四国山地には熊が生息していないと聞いていたので驚いた。数少ないツキノワグマなので、生息調査を引き継ぎ行き、適切な山の管理を願いたい。
②	希少生物の保護は重要である。ツキノワグマが絶滅危惧種となった原因は我が国の森林政策に問題がなかったのか。スギ、ヒノキを植樹しすぎてクマの餌がなくなったのではないかと考えることがある。
②	生態系のバランスを保つことが重要と考える。減ってしまったツキノワグマ、減った原因が気になった。
②	山口県においてもツキノワグマの目撃情報をよく耳にする。野生動物と共生できる森林づくりの必要性を感じる。
②	保護と増えるは必ずしも一体ではない。また増えると困ることもある中、どのように管理していくかは、ずっとある課題である。今は色々な組織と連携することが出来るので、そのような取組がどんどん公表され、協議できる世の中になれば、と思う。
③	実際に見に行きたいと思った。心ない人がいることは残念だが、残っていて欲しいと思う。
③	この国では希少な生物が死に絶えようとしている。それを守る活動を環境省や他の団体と連携して実施して貰いたい。
③	地球温暖化の影響により高山植物も失いつつあるように思う。減少していくものを守るとりくみはどのような場所や場面であっても必要である。高山植物の生態維持管理にも役立つ意義のあることと思う。是非継続して欲しい。
③	トレッキングに興味がある人なら一度は訪れてみたい礼文島。花のトレッキングツアーとして西日本からもツアー会社の目玉商品として掲げられている。私たちの知らない所で他省庁と連携し保護増殖に取り組んでおられる事を知り感激している。山の仲間とこの情報を共有したいと思う。
③	今後気候変動により植生や生態系へ加速度的に影響が出てくるのが懸念されるため、省庁横断的に協力して保護研究を進めてほしい。

3 国有林野の林産物の供給(P72~P79)

質問7		(1)林産物等の供給、(2)国産材の安定供給体制の構築に向けた貢献の事例の中で最も興味をひかれたものは何ですか。1つお選びください。	
①	事例21 伐採箇所に残された未利用材の有効活用(P76)	24	52%
②	事例22 公共建築物の木材利用促進に向けた特殊材の供給(P77)	14	30%
③	事例23 民有林と連携した森林認証材の協調出荷(P79)	8	17%
計		46	

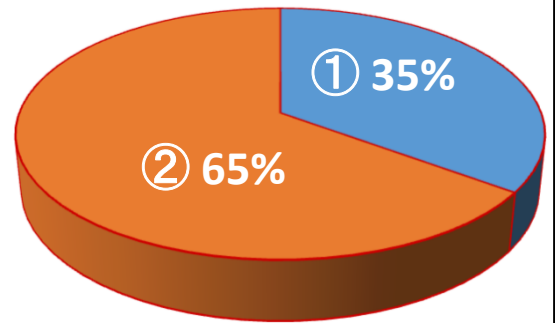


※四捨五入により合計は100%になっていません。

質問7		興味をひかれた理由やご意見等がございましたらご記入ください。	
①	根元・長さを揃えるために切り落とされた株など、もっと有効活用できると思う。但し、置き場、運び賃を考えると手間の割にはとなりそう。利益が出るといいのだが。		
①	未利用材の有効活用は大変良いと思うが、旺盛なバイオマス発電による木材の需要により、通常に利用できる木材も販売される懸念はないか心配である。		
①	バイオマス発電はCO2を排出してしまうので、SDGsの活動として評価されないようになる。バイオマスを林地の肥料として生かす方が生物多様性に有効なのではないか。未利用材を活用するために石油燃料を使って運搬するのはいかがかと思う。		
①	D材の有効利用が進めば、間伐後の森林保全につながるとともに、わずかでも所得が上がることはありがたい。		
①	伐木した材から出る枝、根元や劣勢木等の未利用材をバイオマス発電の燃料等で有効利用というのは期待できそうで興味深く拝読した。		
①	欧州委員会は森林バイオマス(主に木質ペレットなどの木質バイオマス燃料)は、石炭、石油、天然ガスよりも多くの温室効果ガスを排出すると結論付けている。森林バイオマスを推進してよいのだろうか。		
②	地域の文化財保護ボランティアに参加しているが、大きな課題に適正木材確保がある。縦割りの情報で林野業界から木材の情報が文化財活用まで伝わっていない。地域の建築物1件程度ならまとまった規格で出荷できなくても活用できそうなので、公共建築物の中に文化財も組み入れて欲しい。		
②	非住宅向けの木材利用の拡大は、木材市場を拡大して海外からの木材輸入を減少させることに繋がる取り組みになると感じた。低炭素社会を実現するための取り組みにも発展すると考える。是非とも、業務用建築物での木材利用を普及させたい。		
②	木曾ヒノキ活用について新たな一面を知ることができた。		
②	公共建築物の木材利用促進に向けての需要に応じた供給の取り組みは森林管理署で温度差があるのではと感じた。		
③	手入れが進んでいる山の木は利用が増えている様に思う。地域の人と山に関心をもってもらい、山の木を手入れをし活用を増やして欲しい。		
③	表-19による民有林と連携したシステム販売による木材供給量は国有林材の比率が高く、民有林材の比率が極端に低い。需要と供給のバランスはあると思うが、民有林の比率が高くなる様、民有林所有者の収入が少しでも多くなる様に考えて頂きたい。森林認証材はどのような木材なのか知られていない面があるのでは・・・。		
③	認証材の普及や付加価値の創出が未だ途上であると感じるため、国有林事業がそれらを牽引して欲しい。		

4 国有林野の活用(P80~P85)

質問8		(1) 国有林野の活用の適切な推進、(2) 公衆の保健のための活用の推進の事例の中で最も興味をひかれたものは何ですか。1つお選びください。	
①	事例24 我が国の宇宙開発事業に貢献する国有林野の活用(P82)	16	35%
②	事例25「日本美しい森 お勧め国有林」における訪日外国人の利用も想定した施設の修繕(P84)	30	65%
計		46	



質問8	興味をひかれた理由やご意見等がございましたらご記入ください。
①	<p>将来のための投資でいいと思う。一般の人も打ち上げなど見れる場所も作り、観光にも利用してもらえると嬉しい。</p> <p>宇宙開発は全人類の夢でもあり、国有林の支援は今後も必要となる事から適切な対応と協力支援が大切であると思慮される。</p> <p>国有林が土地を貸付したり、売払いをされているのは知らなかった。国民の森林となる国有林が減少することに不安はあるが、貸付けや売却された土地が将来的に安心して有効利用されることを望む。</p>
②	<p>地域の山を日本美しい森になる様に取り組みを進めて欲しい。</p> <p>日本美しい森は外国人の前に日本の子供達に利用していただくことが先ではないか。</p> <p>日本の森林はヨーロッパの森林とは全く違う美しさを放つものである。綺麗な水、山、島達と海外からの訪問客を是非とも呼び込むことが大切。その為には、インフラをしっかり整備すべきである。</p> <p>トイレなどの施設が防犯上問題になっていることへの対策方法が欲しい。</p> <p>外国の方への説明を二次元バーコードで対応は良いことだ。外国語の看板は国内の観光地にそぐわないと考えていた。二次元バーコードで表示されるサイトの説明を更新することもできる。素晴らしいアイデア。</p> <p>森林の持つ多面的な機能をこうして案内することは、木材の搬出のみならず、多くの魅力ある森林の有効活用かと思うが、特定の場所以外の認知度がまだまだ低い。認知度が向上すれば、現状でも利用者数がさらに増えるのではないか。</p> <p>行ってみたいと思わない理由に、綺麗なトイレが無いという不安がある。地元「釜峰山森林浴公園」にも立派でなくても綺麗なトイレがあればいいと思う。また美しい森には綺麗なトイレが必要である。綺麗なトイレがあることで公園を利用する人達も綺麗な気持ちで過ごせるようになり山の環境も良くなると思う。</p> <p>国有林のファン・サポーター作りから、より知ってもらおう施策と思う。多言語、障がい者が利用し易い施設、施策を期待する。</p> <p>登山道関連施設は、一定の期間を定めて改修改善をするようなことはできないものか。古く朽ちた施設を心霊スポットと称して活用されている施設も多々見受けられる。安全であることが大前提だと思う。ケガや事故は一番あってはならないことだ。プライバシーという面では少々考えなくてはならないことだが、GPS機能などを使用しての管理運用を行うことで改善に取り組んでいただきたい。</p> <p>「日本美しい森」は国民が森林に興味をもってもらおう導入口ではないか。箇所をもっと増やして身近な森林になれば良い。</p>

5 国有林野と一体として整備及び保全を行うことが相当と認められる民有林野の整備及び保全(P86～P89)

質問9	事例26 公益的機能維持増進協定に基づく森林整備(P89)を含め、ご意見等がございましたらご記入ください。
<ul style="list-style-type: none">○ 間伐などの森林整備が公益的機能維持増進に役立つなら、それを担う人々の確保や機能が必要なので、人材の教育・確保とボランティアを含めた活動や機関の設置などの工夫がある。森林環境税の理解やその活用などの工夫や今後の課題などを考えていく必要がある。○ 間伐の実施のためにつくられた作業道がそのまま放置され、山の土砂の流出のきっかけになっているので、あとのフォローをして欲しい。○ 外来種の繁茂が様々な分野で問題とされるが、保護の意識が強くアフターゼロを目指して外来種の駆除をしているところが問題だと思う。温暖化やポールシフトなどの地球規模の問題も抱えているため、アフターゼロでなく、外来種繁茂をできるだけペースダウンさせるマインドを周知させることで従事者負担やコストダウンにも繋げられると思う。○ 税金が投入されるので、多くの方が納得できる使い方が必要だ。○ 森林整備は重要だが、民間事業者ではコスト面からなかなか手が回らないことが多いと考える。本協定により、効率的に伐採され森林が守られることを期待する。奈良や京都には森林が多いが、手入れのされていない山が多い。非常に歩きにくい自然歩道などもある。○ 自然災害が最近多いが、特に土砂の流出は問題である。○ 間伐の必要性(重要性)が広まっていないような気がする。間伐材を割り箸に活用することに反対する人たちもいる。間伐の必要性・重要性・効果を説明するためのデータを蓄積し、広めることができると良い。○ 非常に有益でいい話だと思う。しかし一方でその森林をどのようにしたいのかという互いの思いをすり合わせしておかないと、道はつけても後は放棄されたままの状態、管理もしなければ一切の利用なしと一時的なものになりかねない。○ 国有林野と一体として整備することはとても良い事で意味があると思う。ただ、素人考えではあるが民有林野を整備する際の経費はどこから出ているのかが気になる。○ 民有林のほとんどは零細規模で資産保持的に所有している個人が多いと思われ、適正な森林管理を促すうえでも事例のような協定は有効だと思う。○ 民有林も森林は公益的機能を有していると考える。国有林野と接していなければ本制度の活用出来ないのは公平性に欠けるのでは。公益的機能の低下に懸念があるならば、小さな森林所有者に対しても何らかの維持増進対策が必要と思う。○ 高齢化に伴って経営困難な森林が相続手続きのない森林へ増える恐れが大きいと思う。公的部門での経営所有による森林保全、国土保全施策の検討が必要だ。○ 間伐が下層植生の生育を促す。集中豪雨、大雨などによる洪水を防ぐためにドローン等を駆使した整備の重要性を感じた。○ 民有林野と一体的に整備することによって下層植生の生育が確認できたとのことで期待している。○ 官・民に対する意見はあまり言えないが、民有林が荒れているのは確かなことだと思う。今後は官・民と共にもっと山の事を話し合う場を作ってほしい。○ 山地災害防止や水源涵養等の公益的機能の増進を図るには、流域を単位とした一体的な間伐等の手入れが必要だ。放置された民有林と一体になって整備してもらえるのは有難い。○ 森林整備の実施や保全の時、民有林との兼ね合いは避けて通れない。民有林、国有林と区別せず、所有者に関わらず自然界は一つと考え事業を薦めて頂きたい。	

6 国有林野の事業運営(P90~P97)

質問10

(1)民間委託の推進、(2)計画的かつ効率的な事業の実行、(3)情報システムの活用とICT(情報通信技術)の導入、(4)安全・健康管理対策の推進と事例27 大学等と連携した造林作業の効率化に向けた無人航空機やAI活用の実証(P96)の中でご意見等がございましたらご記入ください。

- 林野庁の民間委託事業の見直しをして欲しい。大きなかたまりでやる事業だけでは進展が感じられない。個に人が保有している山林の手入れをするためのきっかけをつくるのが国の山々を美しい森につなぐことができる。
- 大学の研究を国有林の各種事業に活用するため、より一層連携を深めてもらいたい。
- 国有林野事業の実施体制だが、林野庁～森林管理署までの体制を考えると、なかなか難しいと思うが、もう少し林野庁から森林管理署までの考え方も柔らかくした方が良いのではないか。
- 民間委託の推進・・・この件に関しては反対だ。何故ならば、国の財産であり、いくら厳密な契約にて実施しても必ず問題が起きている。現地の巡視等はとてもできるものではない。国有林保全の為にどうすべきかは民間モニターの意見を取り入れる必要がある。
- ICTを活用した地図データは既に森林組合が県と共同で作成し、森林所有者の境界確認に役立っている。ただ、施業計画のエリアだけに限られるため、国土全域の地図データが農地ナビのように整備されることを期待する。
- ICTを活用して、だれでも手軽に操作できる方法によって省力化を検討してほしい
- 民間委託の推進もだが、就職氷河期の世代の採用にも力を入れて欲しい。
- GISやドローンの活用は森林管理に非常に向いているものだと思う。こうしたツールを導入することにより、効率化を図ることもできる上に、デジタル管理ができるようになり、将来の大きな財産になると思う。
- 植栽木を自動的に検出するAIによる新たな技術に大変興味を覚えた。AIによる無人航空機が進化して少しでも安価に購入できればと思う。
- 利害関係を生まない大学との連携事業に賛成だ。若い研究者たちのエネルギーを信じてコラボして欲しい。ただ最新機器を用いた慣れない作業などで危険なことがあってはならない。人命第一、安全第一でやらないと本末転倒だ。97ページ、職員の災害状況の報告は悲しい。
- 利益が出ないものであれば儲からないを前提として取り組んだほうが良いのでは。日本の風土や環境を守るために必要なコストだと捉えたほうがよい。簡単に割り切れないだろうが。
- 民間への全面委託に関しては、断固反対する。日単位とは言わないが、最低でも週単位での報告義務、3ヶ月単位での監督検査もしくは監督員常駐での民間委託であれば許せるが、丸投げ方式の委託は安全面で容認できかねる。
- 林業のIT化により危険回避と省力化を進めることが、今後の林業にはきわめて重要で、それらを現場で使いこなすノウハウの蓄積を進めることの重要性を理解した。
- 経営管理とは、民間へ丸投げし赤字事業を継続することか？一般に経営と言え、事業を継続するリソースを持ち事業目標を立て利潤を上げることにより納税義務を果たし社会に貢献することを言う。債務1.27兆円に対して211億円の返済では100年かかっても完済できない。
- もっと皆が目にする方法で宣伝できるシステムがあればと思う。
- 再造林において、人材不足は既に顕在化してきているため、可能な限り技術革新による負担軽減につなげてほしい。
- 日本ではいわゆる「山仕事」は金にならない仕事の代名詞であると聞く。しかし民間委託をもっと工夫して、大勢が働きそれなりに賃金も払えるようなシステムに作り上げれば、一石二鳥ではないかなと考える。
- 民間の協力がないと国有林保全は極めて困難であるということがわかった。

7 その他国有林野の管理経営(P98～P107)

質問11		(1)人材の育成、(2)地域振興への寄与、(3)東日本大震災からの復旧・復興への貢献、(4)関係機関等との連携の推進の事例の中で最も興味をひかれたものは何ですか。1つお選びください。	
①	コラム4 東日本大震災からの復興で果たす国有林野の役割(P105)	20	39%
②	事例28 森林施業における生物多様性の保全に関する研修(P100)	7	14%
③	事例29 アイヌ施策推進法に基づく共用林野設定(P102)	19	37%
④	事例30 戦後の国土緑化を支えた林業遺産の管理(P103)	5	10%
計		51	

④ 10%

① 39%

② 14%

③ 37%

質問11		興味をひかれた理由やご意見等がございましたらご記入ください。	
①	国有林が東日本大震災の復興に一役かっている事をこの記事を読むまで知らなかった。		
①	まだまだ震災復興は途上である。ますます力と予算を投じてほしい。		
①	先の震災に伴う放射能汚染は人類史においても重要な経験則であり、引き続きモニタリング等を通じ世界に発信してほしい。		
①	本稿により人々の生活、文化と森林、自然環境との関わり大切さを思った。歴史、文化、生活、環境の保全の面から林業施策が重要と感じた。		
①	海岸防災林の植栽完了や福島県相双地域での林業再生等、東日本大震災からの復興で果たす国有林野の役割は非常に大きいと感心した。		
①	林や森は必要だと思った。		
②	森林総合監理士(フォレスター)は、これからの日本の森林の姿を描いてくれる大きな柱だ。今後もこうした専門知識を有する方々にご健闘願いたいと思うのと並行して、実際に施業をする技術者の育成にも力を入れて頂きたい。		
②	生物多様性の保全のための研修も必要だが、地域教育機関と研究や調査を協働して行う仕組みの構築などもあれば良い、将来の担い手としての人材育成にもなると考える。		
②	人の生活と生物多様性の保全との両立は繊細な課題だと感じている。何もしないことが保全ではなく、しかし何かし過ぎてもひずみが生じる。力加減が難しい。		
③	アイヌ民族などの先住民族の文化を理解し、その文化を互いに尊重できると嬉しい。		
③	アイヌ文化の振興と国有林野の活用が関係しているのに興味を持った。		
③	アイヌの人々に対しての取り組みがよくわかる。アイヌの人々の自然感を大事にして欲しい。		
③	どんな土地でも伝統を守り生きる礎にしている人たちがいる。人間の尊厳を守る基本的な法律が制定されたことを嬉しく思う。人を大事にすることは自然を守ることに繋がる。		
④	日本森林学会の存在や林業遺産の存在を初めて知った。林業遺産は、登山やハイキングが好きな人にPRすることで、継続して守っていくという理解者・賛同者を増やすことができる。もっと、PRして林業遺産が埋もれて行かない手立てを実施していくべき。		
④	林業の歴史はそう多くは知られていない。風穴など、こうした林業遺産を残し、後世に伝えていくことは重要であると思う。		

その他	「国有林野モニター事業」についてお気づきの点がありましたらお聞かせください。
<ul style="list-style-type: none"> ○ この事業は素晴らしいと思うが、読む、知ることが多いのに時間に余裕があるなど感じる。 ○ コロナ禍の現状では困難と思うが、事業実施の現場を見学したい。国有林を訪ねてみたい。資料のより広い配布を願う。 ○ 「国有林野の管理経営に関する基本計画の実施状況」を手にすることで国はしっかり国土を守っていることがわかり心強い。私達にできる事は一番に知ることである。 ○ 図書館やインターネットでは得られない深い知識に触れる機会が得られた。課題としては、文化財・美術業界と同じ様に、林業関係者が各部署、専門知識、技術に特化していて、ちょっとした応用、横の繋がりが無い。 ○ それぞれの取組がわかっていいと思う。(勉強になった。)国有林に興味があった。季節を感じに行こうと思う。 ○ コロナの影響で大阪でのモニター会議に出席できなかったことがとても残念だった。もう少し、近場で開催してほしい。また、国有林の現地への見学にも参加してみたい。木の魅力をもっと広めたい。 ○ 各地域のモニターから寄せられる意見などの中で、参考になる発言があればフィードバックしてほしい。 ○ 官・民と一つになって、国の宝である国有林を守るのは、国だけではなく民間人でもあると思う。やはりそれには、官が民との話し合いの場を作り、もっと国有林の大切さを教えて欲しい。国有林内には、素晴らしく美しい場所が多数ある。そのような所で観察所を作って国民にもっと理解してもらえたら、素晴らしい国有林事業だと思う。 ○ 私は農業に従事していて農業の未来に危機感を持っている。林業についても同様に感じている。モニターとなり、林野庁の活動を知り幾分不安も軽減した。もっとメディアに林野庁が取り上げられたらいいと思う。モニターになった頃は国有林という言葉は知っていても日本国内にどの様に分布しているのかわからずネットで調べたりした。この度の本でP14の様に国有林の分布や7つに分かれた管轄区域を、もっと早めに知ると理解しやすかったと思う。 ○ モニターの様々な考え、意見をまとめ、事業に反映して頂きたい。モニター会議を年2回は開催して頂きたい。勿論、予算が必要だが決して無駄にはならないと考える。少人数で実のある実施を…。最低限の予算確保を望む。 	

以上、令和3年度国有林モニターアンケート(第2回)調査結果でした。
ご協力ありがとうございました。